



揖斐郡学校保健会だより 令和4.11.28 第4号

揖斐郡三師会・郡内各小中学校・各町教育委員会送付

第61回岐阜県学校保健研究大会（揖斐郡大会）

第61回岐阜県学校保健研究大会（揖斐郡大会）を11月27日（日）揖斐川町地域交流センター「はなもも」で行いました。

大会には郡外より県学校保健会役員の皆様、令和4年度岐阜県学校保健会表彰・県学校環境衛生活動優良校表彰の皆様、岐阜県学校保健会事務局及び西濃教育事務所所長様・課長補佐様、郡外各地の学校保健関係者の皆様に、郡内からはご来賓として町村会長の岡部揖斐川町長様、三町の教育長様、揖斐郡医師会、揖斐郡歯科医師会、揖斐郡薬剤師会の先生方、揖斐郡校長会の校長先生方、揖斐郡学校保健会理事会の皆様、郡保健主事部会・養護教諭部会・郡栄養教諭部会・郡小中体育主任会の先生方に参加していただきました。

また、揖斐郡学校保健会理事会の皆様、郡保健主事部会・養護教諭部会・郡栄養教諭部会・郡小中体育主任会の先生方には大会スタッフとして研究発表や大会運営で大変お世話になりました。

大会では「ポストコロナ時代を生き抜く力をもった児童生徒の育成～郡三師会と学校の連携による健康づくりを通して～」のテーマのもと取り組んだ揖斐郡の学校保健の取組を多くの方に知っていただくとともに、研究大会への取組を通して三師会と学校が連携した揖斐郡の学校保健の取組を高めることができました。どうもありがとうございました。



第61回岐阜県学校保健研究大会

ポストコロナ時代を生き抜く力をもった児童生徒の育成 ～郡三師会と学校の連携による健康づくりを通して～

令和4年11月27日（日）12:45～15:40

12:20 12:45 13:25 13:30 14:15 14:25 15:25 15:40

受付	開会式 表彰式	準備	研究発表 I, II, III	休憩	記念講演	閉会式
----	------------	----	--------------------	----	------	-----

<表彰式>

揖斐郡からは令和4年度岐阜県学校保健会表彰者として、医師会の野原良二先生、歯科医師会の野原義弘先生、中川浩美校長先生が表彰を受けられました。



<研究発表> 研究発表では3つの部会が次のテーマで発表しました。

①研究発表Ⅰ 揖斐郡保健主事部会

自らの健康を守るとともに、身の回りの人々の健康にも意識をもったり、働きかけたりすることができる児童・生徒の育成

～保健主事のマネジメントの在り方と、三師会との連携による健康教育の推進～

②研究発表Ⅱ 揖斐郡養護教諭部会

「生涯にわたり主体的に健康な生活をつくりだす子の育成」

～高い危機管理意識をもち、養護教諭の専門性を生かした保健活動の在り方～

③研究部会Ⅲ 揖斐郡学校保健会

郡が一体となって「ポストコロナを生き抜く5つの力」を育てる学校保健活動の推進

～郡学校保健会による郡全体の健康づくりの充実を図るマネジメントや支援を通して～

<記念講演>

『コロナ禍におけるこどもたち ～小児発達外来の現場から～』

講師 ころとそだちのクリニック あすなる 院長 各務原病院 精神科医師（非常勤） 加藤 智美 先生

第 6 1 回岐阜県学校保健研究大会を終えるにあたり

第 61 回岐阜県学校保健研究大会実行委員長(揖斐郡学校保健会会長) 野田 宜輝 様

新型コロナウイルス感染流行下、第 61 回岐阜県学校保健会研究大会が揖斐郡で開催されました。想起こせば、令和2年4月に第1回実行委員会が開催され、それ以降何度も委員会を開催しました。しかし、コロナ下のため、参加人数、開催形式(昼食をとっていただくのかどうか)について県学校保健会の方針が決まらず、最も大切な予算も決まらないため、2通りの計画を併行して進めておりました。

過去西濃地区開催の岐阜県学校保健研究大会をみると、他の学校保健会から補助をもらってやっと収支が合っており、今回は変えていきたいとの思いが強くなりました。令和4年5月になり県学校保健会会長の英断により、以前より時間を短縮し、12時45分開会 15時40分閉会、昼食なしという基本計画が認められました。その結果やっと予算が決定しました。その後もコロナ第7波により、出席者数の再検討や Web のみでの開催の検討を行ない、さらに会場を新型コロナワクチン集団接種で使用する事になり、他会場案が再浮上するなど、直前まで様々な問題の対応に追われておりました。また研究発表の見直し変更が直前まで何度もあり、担当の先生方は、自分の時間を削って対応する事になり、多大な負担をかけることになりました。このような苦難を乗り越え、本日大会を終えることができ本当に感慨深いものがあります。

本大会は、「ポストコロナ時代を生き抜く力を持った児童生徒の育成～郡三師会と学校の連携による健康づくりを通して～」のテーマの下、研究発表では、自らの健康を守ると共に、周りの人々の健康にも働きかける事ができる児童生徒を育成するために保健主事、養護教諭が三師会と連携しながら実践してきた事に関する発表を行い、次に保健主事、養護教諭の取り組みに対して、学校保健会及び三師会がどのような支援や普及活動をしてきたのかについて発表しました。記念講演を行っていただいた「こころとそだちのクリニックあすなろ」の院長加藤智美先生には、新型コロナにかからないようにという措置の一方で、そのデメリットがあまりに軽視されていないか、休校、部活や行事の中止がもたらすその後一生にわたるかもしれない負の影響を、大人は考える必要があるのではないかという内容のお話をお願いしたいと依頼し、話しにくい内容にもかかわらず快く受けていただきました。心より感謝いたします。

この研究大会が、子供たちが自分の心身を意識し、守り、生き抜く力をつけてもらえるようになるための大人の役割を考えていく機会になり、各地での学校と三師会の関わりのヒントになったのなら幸いです。

最後になりましたが、岐阜県学校保健会様、岐阜県教育委員会様のご支援に感謝申し上げます。さらに揖斐郡教育委員会様、揖斐郡三師会、揖斐郡学校保健会の力添えでここまで準備が進められましたこと、お礼申し上げます。



大会に参加された方のアンケートより

<アンケート用紙提出分>

※揖斐郡学校保健会のホームページのアンケートフォームからご回答いただいているところですが、フォームよりの回答分は、ご回答が終わりましたら、後日まとめさせていただきます。

(1)研究発表Ⅰ:郡保健主事部会の発表について

- 多くの実践を聞くことができ参考になりました。
- 手洗いにこだわった素晴らしい発表でした。統計も多くわかりやすかったです。

- 保健主事として大会へ向けて二年間取り組む中で、主事としての果たすべき役割を捉え、再度見直して努力していきたいと思いました。
- コロナや感染予防において手洗いや換気の仕方を工夫して実践している様子がよくわかりました。歯科医の先生の動画のアイデアはよいと思いました。
- 三師会との連携やICT活用についてよく理解できました。また保健主事の役割をしっかりと認識した上で盛んに活動されているなど感じました。
- 講師とどのように授業・指導を仕組むのかの例が紹介され、興味深かった。
- 保健主事の役割を明確に捉えながら、研究へと臨まれた姿が勉強になりました。



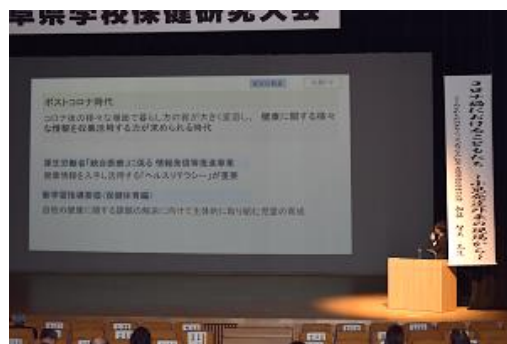
(2) 研究発表Ⅱ：郡養護教諭部会の発表について

- 専門性を生かしたよい発表でした。
- 自分の命は自分で守るために感染予防や日々の生活習慣の指導に力を入れていることがわかりました。
- こどもの生活の実態をアンケートをもとに指導に生かされていることが課題に応じた取組を行っていると感じてきた。
- 健康づくりについて学校内だけでなく、家庭へのアンケートの実施、継続的に保健指導を行っている様子がよくわかりました。アルコール消毒ができない子に焦点をあて、しっかり手洗いすれば消毒は大丈夫と子どもを安心させること、つい見過ごしがちな子にも配慮が大切だとわかりました。
- 発表の形式が集団指導、個別指導、組織活動の3グループで3町がそれぞれ担当していたのでわかりやすかったです。
- 授業を行うことだけでなく、評価することで、課題解決に迫るよりよい指導ができていたと思う。改善を繰り返すことで、よりよいものが出来上がっていったと思う。
- 各町で重点をおいて研究され、課題の追求がすごいと思いました。



(3) 研究発表Ⅲ：郡学校保健会の発表について

- 三師会の先生方との連携について具体的に知れたのがよかったです。自校でも取り入れて行きたいです。
- どの発表も研究テーマが明確であり、保健主事部会、養護教諭部会、学校保健会の位置づけや連携がよくわかりました。
- 三師会と学校が連携していくための支援を更に進めたい。
- 三師会と養護教諭の方との連携の中で、コロナに関しての理解を子ども自身が分かるように取り組まれたことが大変有効に思う。
- 講演会やYouTube配信など様々な視点からの発信において取り組んでいる様子がわかりました。
- 郡の全体構想がしっかりと構築されていて、「ポストコロナを生きぬく5つの力」が参考になりました。三師会と学校との連携が密接であり、活発であることがよくわかりました。
- 三師会と養護教諭との交流会では学校現場の疑問に対して取り上げて実施というところがとても心強く、子どもたちへの指導にもとても有効だと思った。コロナにより人間関係が希薄となった気がするがこうしてニーズに沿ったテーマを取り上げていただき、皆で課題に取り組むという雰囲気を作ってくださったこと、とても素晴らしいと思いました。勇気づけられる取組だと感じました。



- 養護教諭の質の向上や変容など具体的な成果がもう少し分かるとよかったです。
- 揖斐郡の各町が連携して取り組んでいることや郡三師会と学校が連携して取り組んで学校保健の取り組みを行っていることがよくわかる発表でした。

(4) 記念講演について

- 発達障害をもつ子どもたちの陥りやすい環境や支援についてとてもよくわかりました。
- 子どものこころに寄り添うことができるために私たちに必要な資質を学ぶことができました。
- 大変参考になる講演でした。
- 心のケアの大切さ、発達障害との関連、これからの課題が明確になりました。
- つながりと居場所等、大変分かりやすく、子どもの心を大切に、学校現場がつながりや居場所を作れるようにしていきたいと思います。
- こどもの話をしっかりと傾聴し、真剣に向き合う大人になりたいし、学校に居場所を作ってあげられる教師になりたいと思いました。
- わたしたちができること、つながり、居場所、大変分かりやすく心にしみました。ありがとうございました。
- 加藤先生は園の子どもが以前お世話になっていてお話をお聞きしたいと思っていました。周りの大人が子どもをだめにしているケースもあると言われたことがドキッとしました。家庭環境が複雑な子にどう寄り添っていいのか、これから考えていきたいです。
- 今私たちが学ぶべき内容で、本日参加してよかったと思いました。
- コロナ禍によって本当の問題があぶりだされてきたこと、私もそう感じています。子どもの置かれている状況が先生の話から少し分かったような気がします。明日からの職場で、また帰ってから自分の子どもへの関わり方をちょっと変えてみようと思いました。
- 分かりやすいお話で、明日から生徒と接する時、参考にしたいと思いました。



(5) 大会運営について

- 準備大変だったと思います。ありがとうございました。
- コロナ禍の中、大会を開催してくださりありがとうございました。有意義な時間を過ごさせていただきました。
- コロナ対策もきちんとされていてよいと思いました。例年と違い、1日ではなく半日の研修でしたが、準備等大変だったと思います。中身の濃い研修会でした。
- 対面形式で開催されたことが何よりもよかったと思います。
- コロナの状況も踏まえながら開催までにずいぶんと苦労されたと思います。充実した大会に参加させていただき、ありがとうございました。
- スムーズな進行でよかったと思います。また今対応の仕方を迷っている生徒への関わり方の方向性を見出すことができました。本当に参加してよかったです。
- 限られた時間の中での準備や発表お疲れさまでした。

